

タウンミーティング 市連合壮年団 市政懇談会

2019.2.2 (土) 16:00~17:45

辰口福祉会館CC館棟 大研修室

○参加者 市民 65名

●能美市連合壮年団 会長 あいさつ

- ・11月の壮年団事業「地域づくりの集い」で防災をテーマに講演会を開催した。今日は講演後のアンケートに記入があった内容について質問や意見交換をしていきたい。
- ・昨年は2月に豪雪、夏には豪雨、秋には北海道で地震があり、多くの自然災害があった。石川県は災害が少ない地域であり幸せなことではあるが、危機意識を持たなければならない。
- ・壮年団として何をしていくかについて活発な意見交換をしていきたい。

●市長あいさつ・市政報告

- ・市の課題（人口減少、自然災害、アセットマネジメント）と政策目標5本柱
- ・新年度予算の編成方針
- ・交通インフラの整備と活用
- ・施設整備事業
- ・危機管理事業と気象警報発生状況、災害対応
- ・市民力・地域力、ふるさと愛の醸成の重要性

●意見交換

(壮年団事務局)

- ・地域づくりの集いで出された意見を集約し、61項目を6分野に分類し、市長に質問したい。

1、雪害対策について

(壮年団事務局)

- (1) 早く除雪してほしい。除雪に来るのが遅い。
- (2) 除雪作業に対する技量不足（家の前に大きな雪の塊が残された、地面に穴が開いている等）
- (3) 融雪装置を増やしてほしい。
- (4) 雪捨て場が無い

- (5) 市による除雪の計画（場所、時間）のアナウンス、どこの除雪が終わっているか等の情報が欲しい。
- (6) 除雪が終わっていないため通行困難な道を知りたい。
- (7) 今後どのような情報提供を計画・検討しているのか
- (8) 道路が通行止めになる時の迂回路の計画を教えて欲しい。特に、消防・警察・病院の周辺について。
- (9) 雪害対策の迅速化、自主防災組織の役割を含め、組織作りへの協力を求めるべきでないか。（各町会で活動がばらばらなので、マニュアル化してはどうか）
- (10) 除雪車を改造して、家と道路の脇に雪の塊が残らないようにする構造にして欲しい。
- (11) 除雪作業はトラクターを所有する農家に協力を求めてはどうか。（アタッチメント購入費を市で負担するなど）
- (12) 除雪車が大型なため、大通りしか除雪に入れず、町内の路地に入れない。小型化が必要ではないか。

（市長）

- ・ 昨年は 37 年ぶりの豪雪で大変な迷惑をおかけした。雪が降った当日は、早朝、車の通行が増える前に除雪したが、その後また雪が降ってきてしまった。車がその上を通ったため圧雪されて固まってしまった。また、久しぶりの雪だったため、除雪車のオペレータが慣れていなかったこともあり、除雪が追いつかなかった。
- ・ 除雪対策本部では、業者も含め夜中も寝ないで除雪していた。業者に休んでもらっている間に、市職員も除雪にあたっていた。女性職員も凍結防止剤の散布作業にあたったり、全員がフルに活動していたが追いつかない状況であった。
- ・ 今年度は雪害に対して 1 億円を上乗せして対応することとした。
「雪害対策 10 本の柱について」
 - ①パトロール体制強化
 - ②オペレータの人材確保と育成（講習受講費の助成）
 - ③既設の消融雪設備補修と増強
 - ④除雪機の台数と除雪受託業者の増加促進
 - ⑤除雪受託業者への補助金増額
 - ⑥町会・町内会が実施する除雪作業委託費の補助率の増加
 - ⑦町会・町内会で整備する除雪機械購入補助・作業免許取得費補助制度創設
 - ⑧救急指定病院への搬送指定道路の除雪出動基準の見直し
 - ⑨歩道・通学路の除雪のため歩行式小型除雪機の購入・配備
 - ⑩排雪場所の増加と町会・町内会への協力依頼
- ・ 融雪装置の新設については膨大な費用が掛かるため、また地下水が減少しているため難

しい。

- ・降雪時の問い合わせは除雪対策本部である土木課へお願いしたい。雪の降り具合によって除雪状況も変わってくるのでその都度問い合わせさせて欲しい。
- ・除雪機の改良というご意見については、除雪専用の機械でないものが多いためアタッチメントをつけるのは難しい。操縦者の技量を上げることが有効で、講習会受講の奨励をしていく。
- ・除雪状況の確認を人海戦術で行い、アナウンスはしている。ご期待に添えていないかもしれないが、ご理解をいただきたい。

2、市の災害体制について

(壮年団事務局)

- (1) 最近のゲリラ豪雨に対して市として何か対策しているか？
- (2) 災害になった時の水、食料を備蓄しているか。こういう災害ならこういう対応、のようなケーススタディがあるのか。(地震、水害、津波、雪害、など)
- (3) 避難場所に、帰宅できなくなった場合に備え食料などを地区ごとに準備しておくべきなのか？
- (4) 県と各市町村との体制（連携）はどうか
- (5) 情報公開をスムーズに行えるようにしてほしい
- (6) 災害発生時に仮設住宅はすぐには作れないのでキャンプテントをある程度保持するべきでは。
- (7) 防災にお金をかけるときりがない。能美市は防災の何に力を入れるのか？

(市長)

- ・自然災害は一旦発生すると被害は甚大。能美市で起こり得る大雨・洪水・土砂災害・地震に対する減災について取り組んでいる。
- ・スムーズに避難することを最優先にしている。市はもちろん町会・町内会・企業で防災・避難訓練を実施しているので、みなさんには参加をお願いしたい。
- ・洪水への対策として川の体積土砂の除去を国・県に要望している。
- ・鍋谷川護岸工事を実施している。
- ・情報公開についてはホームページ、のみチャンネル、無線放送、広報車、エリアメールで行っている。
- ・土砂災害警戒情報が発令された場合、大きな音が鳴りスマホにエリアメールが届く。し

かし、これまで一度も大きな被害に見舞われていない。エリアメールが届いても大したことはないと思われてしまわないか恐れている。対策に悩んでいる。

- ・気象庁、国交省、石川県と気象情報、河川の状況について連携して連絡を受け取っている。避難勧告を発令する時は近隣市町と連絡を取り合って連携を取っている。
- ・食糧は乾パン、ビスケット、羊羹などを、法令で決まっている量を備蓄している。
- ・テントでどれだけ過ごせるか心配。昨年、鍋谷町の方に辰口福社会館へ避難してもらった時には、お風呂にもは入れて、水洗トイレもあり、冷暖房完備であったが、みなさんは疲れたと言っていた。被災地の避難所をみたことがあるが、お風呂に入れない、赤ちゃんの夜泣き、寝言、洗濯、トイレなどでストレスがたまる状況であった。できるだけテントではなく辰口福社会館や体育館、学校で過ごしてもらえればと思う。

3、各災害に対する備えや対応について

(壮年団事務局)

- (1) 能美市で起こりうる災害は何か？（2で回答）
- (2) 水害があった時にどうしていいかわからない。
- (3) ハザードマップも定期的に更新したほうが良い。今はない施設が避難所となっている。なくなって5年以上経っているのだが。
- (4) 家にハザードマップがないので欲しい。もしくは町に設置してほしい。能美市全体の避難場所の地図が欲しい
- (5) どの災害が一番想定されているのか。災害時に市民はどの程度、行政から協力を求められるのか。
- (6) 白山の噴火の可能性と噴火した場合のレベル別の想定される被害、手取川の氾濫の可能性
- (7) 地震による津波の被害は手取川上流ではないのか？
- (8) 各災害によって開設される避難所が異なることを周知したほうがよいと思う。
- (9) 避難場所が被害にあった場合、第2第3の避難場所を想定しているか？
- (10) 避難所が災害に対して安全なのか心配です。地震の場合の避難所、津波の場合の避難所、それぞれ安全性は確保されているか？
- (11) 能美市のライフラインは災害に強いのか点検して欲しい。飲み水や電気の供給など（北海道での地震による長期停電を想定）

(市長)

- ・ 起こり得る災害（大雨・洪水・土砂災害・地震）に対し、ハザードマップを見直して、マニュアルを作成し全戸配布する。避難場所や避難経路、浸水想定区域等が記載されている。それを見て欲しい。不足の点は言ってほしい。
- ・ 壮年団の皆様にはご協力をお願いしたい。お力添えがないと安心・安全に避難することはできない。高齢者の避難介助や、お子さんの不安解消にはみなさんの力が必要である。避難物資の仕分けや配布には男性の力が必要となってくる。
- ・ 白山噴火については、国交省では能美市に大きな被害はないだろうと言っている。
- ・ 津波は、東日本大震災の時は大きな面積での地震があつて、津波が押し寄せてきた。日本海側にも活断層があつて大きな地震があつたとしたら能美市には最大6mの津波がくると想定されているが6mの津波が来ても東日本大震災ほどの水が来るとはないと想定されている。また、海岸沿いには高速道路もあるため、大きな被害にならないとも想定されている。
- ・ 避難所が被災した場合、他の避難所へ避難することになっている。
- ・ 能美市のライフラインについて430kmの水道管のうち8kmに弱い所があり、補修している。

（団員）

- ・ 今まで防災行政無線の戸外のスピーカーが故障したことはあるか？日中にもう一度チャイム放送を流して故障を確認してはどうか？

（市長）

- ・ 機械の性能を確認し、業者と相談していく。

4、災害に対する市民意識について

（壮年団事務局）

- (1) 防災について説明会をして欲しい。
- (2) 町会の防災活動が形骸化しているので、今一度どうあるべきか明確にしたい。
- (3) 住民参加型の避難訓練をより多く実施すれば、防災意識を高めるきっかけとなるのでは。
- (4) 防災士育成のための市が助成したほうがいいのか。（年間目標で何人育成するなど）
- (5) 共助の支援（すべきかわからないが、あれば活動がしやすいのでは）
- (6) 市民の防災用品購入に対して補助してほしい
- (7) 防災士についての周知・推進をしてほしい。

(8) 能美市民の（地震、津波など）危機意識の薄さについてどう考えているか？

（市長）

- ・説明会は随時やっているが、具体的なテーマをリクエストして頂きたい。個別に聞きたいということがあれば担当課に言って欲しい。
- ・各町会、町内会は積極的に防災活動をしていると思う。
- ・住民参加型の訓練は年に数回行っている。
- ・防災士育成には全額補助している。人数が不足している消防団への入団もお願いしたい。
- ・自助、共助というのはボランティアである。自分の身は自分で守ったり、地域で助け合ったりしてもらいたい。
- ・防災用品についてはご自身で購入してほしい。購入補助をした場合の財源は税金であり。結局皆さんに負担してもらうことになる。避難所の物資については市で用意している。
- ・危機意識の薄さについて、熊本で大きな地震があったが、熊本市長も含めまさかここで地震があるとは思っていなかった。また、台風対策のために瓦は重くなっており、また耐震化が遅れていた。それが災いしたとのことである。いつなんどき起きるかはわからない。注意をして頂きたい。
- ・防災士については個別に案内するので担当課に言ってほしい。

（団員）

- ・ハザードマップに避難場所の表示はあると思うが、キャパはどうなっているのか。物資が足りなくなることはないのか。地区ごとに第2、第3の避難所は明示してあるのか？

（市長）

- ・物資について、全市民分は用意していない。法律に則り備蓄している。足りない分は域外から補充してもらうことになっている。避難してきた人数を速やかに把握して物資を送ってもらえるようになっている。

5、地域や自主防災組織の役割と壮年団の役割について

（壮年団事務局）

- (1) 自主防災組織と壮年団の連携は？
- (2) 能美市における各壮年団の立ち位置をどう考える？
- (3) 各町における防災組織にならうものか、別か？
- (4) 体の不自由な高齢者のために、能美バスを利用してはどうか？

- (5) 高齢者のみ居住宅の避難・確認をどうするべきか？（個人情報保護もあり、町内会での対応は無理）
- (6) 避難訓練はするが、避難後の準備できているか？
- (7) 避難所運営について、訓練は行われているか？
- (8) 避難所運営での役割分担はどのようなになるのか？

（市長）

- ・連携はぜひお願いしたい。役割については町会町内会でご相談していただきたい。市から壮年団に割り振る役割は無いと思う。
- ・バスの利用は緊急度、対象地域の広さによる。基本は自主的に避難をしてもらうことになっている。
- ・高齢者、体の不自由な方は市で把握しており、民生児童委員、福祉委員が確認している。町会・町内会にもご協力をお願いしている。
- ・避難所運営についても訓練している。
- ・町会町内会単位で運営や訓練をお願いしたい。

6、その他、防災関連事項について

（壮年団事務局）

- (1) 台風による運動会などの開催・中止は、当日の朝でなく早めに判断して欲しい。
- (2) 和気小の山崩れの対策をもっと考えて欲しい。

（市長）

- ・イベントの中止判断は、難しかった。早めがいい場合と、遅めがいい場合がある。
- ・小中学校は、PTAの皆さんの仕事の関係があって、判断はぎりぎりまで待っている。
- ・町会・町内会のご協力を頂いているため、スポーツフェスティバルは早めに判断している。ケースバイケースだと思う。
- ・和気小学校の山崩れ対策はしている。土砂崩れがあっても大丈夫なように防砂壁をつくる工事を来年度始める。

7、全体を通しての質問等

（団員）

- ・市の役割は警報の発令と避難所設営であり、物資に関しては個人や他の地域に頼ることになるのか。

(市長)

- ・災害の規模による。市で準備している量を超える分は他の地域からもらうことになる。また個人でもっているものも活用してもらうことになる

(団員)

- ・備蓄の食糧の賞味期限の切れるものはどうするのか？

(市長)

- ・できるだけ捨てないように、事前に訓練やイベントで使っている。

8、他の地域における災害対応について

西日本豪雨災害などの復興支援活動（被災地へ派遣された市職員より報告）